

入院中の子どもたちへ向けて、花火の打ち上げを開催

【概要】

12月12日（金）、岐阜大学医学部附属病院の南東の位置から、入院中の子どもたちへエールの気持ちを込めて花火が打ち上げられました。

花火は病院南東の場所から打ち上がり、入院中の子どもたちは、小児科病棟窓から約10分間の花火を鑑賞しました。

花火が上がると賑やかな歓声があがり、子どもたちは目を輝かせて楽しんでいる様子でした。終了後は、病棟からサイリウムを振って花火師さん達にありがとうを伝えました。

この花火打ち上げは、「小児難病を向き合う子どもとその家族を応援」している団体、エールミールぎふさんの活動によるものです。

クラウドファンディングや募金箱を通じた多くの皆さまからの温かいご支援により、無事、岐阜市内の3病院（当院ほか、岐阜市民病院、岐阜県総合医療センター）の付近で同時に打ち上げとなりました。

この花火が、病気と闘う子どもたちとご家族の明日への力になりますように。引き続き、当院も子どもたちの健やかな未来を応援してまいります。



子どもたちも大盛り上がりでした



終了後に、サイリウムで花火師さん達にありがとうを伝えました

【メディア掲載】

掲載日	新聞社名	内容
2025/12/14	中日	長期入院の子と家族らに花火のプレゼント 病棟の窓越し 上を向いて 岐阜の団体が打ち上げ ～岐阜大学医学附属病院～